

MediaDo ADVICS Kageyama Racing



2019 FIAF4 Rd2

サーキット：富士スピードウェイ

総エントリー台数：36台

チーム名：MediaDo ADVICS Kageyama Racing

ドライバー：篠原 拓朗

第3戦

予選結果：4位

決勝結果：6位

第2戦

予選結果：8位

決勝結果：17位



5月1日

練習走行 40分×2本

5月2日

練習走行 75分×2本

5月3日 第3戦

予選(30分)

決勝(15Lap)

5月4日 第4戦

決勝(15Lap)

～木曜日～ ドライ～レイン

S1 ドライ

200kmタイヤからスタートしました。最初は各コーナーでリアの出るスピードが早く戸惑ってしまいましたが、エンジニアさんから頂いたアドバイスによりオーバーステアの不安部分が減ってタイムアップにも繋がりました。（初期でステアリングを切るスピードをゆっくりにする）

40分間のセッションで、後半ガソリンも軽くなってきてタイムアップもしましたが最後の周に引っかかってしまいベストタイム更新出来ませんでした。明日・予選に向けてはきちんとスペースを作ってアタック出来るようにします。

S2 ハーフウェット→レイン

セッション開始時はハーフウェットでしたが、時間が経つに連れて雨脚が強くなりました。予選・決勝の天気予報がドライ予報という事もあり最初はスリックで練習していましたが、雨脚が強くなってからはレインタイヤも使わずに走行を終了しました。

～金曜日～ ドライ

前日の雨により路面のコンディションもあまり良くなかったため、開始から20分間待ってからコースインしました。1回目のアタックを終えた後、今まであまりやった事のないセッティングにチャレンジしました。富士スピードウェイは直線区間が長いのでストレートスピードが重要となります。フォーミュラカーは空力マシンですが、ストレートスピードを稼ぐために前後の車高を3.6mm上げました。スリップストリームに入っているときは体感でわかる程ストレートは伸びていました。

S2

最初は1本目のユーズドでセット確認を行い、残り60分というところでNewタイヤを履きましたが良いタイムを出せませんでした。S1でのセット変更が頭の中でひっかかり、途中で前後車高を2.4mm下げたところセッション最後にマシンバランスが良くなりタイヤのピークでない時にベストタイムが出ました。タイヤのピーク時はリヤのグリップが高く、コーナー進入時の動きは良いのですがリヤが動いた瞬間のスピードが速過ぎてセクター3でなかなかアクセルを踏む体勢に持っていくことが出来ませんでした。予選に向けてはリヤの車高を2.4mm下げて臨みます

予選 ドライ

前日の感覚からリヤの車高を2.4mm下げた予選でした。3年間FIAF4に乗ってきて予選でアンダーステアの方向にしていくのは初めてで、最初は気持ち的に戸惑いましたがマシンのフィーリングは良くなんとかまとめる事が出来ました。全体的にスリップストリームを使いたがる中でスペースを見つけてアタック出来ましたが、チームメイトの方が更に良いポジションを見つけていたのでその部分は反省します。

決勝

第3戦 ドライ

予選から決勝までの間にポルシェ・SuperGTの走行がありました。そのため路面も大きく変わる事を予想してセットを変えずに臨みました。スタートで前車が止まったのを避けて少し失速してしまいましたが、展開に恵まれトップ3に続いてレースが出来た事は良かったです。しかし、セット変更をしなかったのが裏目に出てしまい、ペースが悪く追いつくレースに出来ませんでした。前日と同じくセクター3でのオーバーステアに苦しみ、レース終盤にバランスが取れてくる展開です。次の日のレースに向けては大きくまたセットアップを変更し、リアの車高を3.6mm下げて臨みます。

第4戦 ドライ

人生初のエンジンストールをしてしまいました。レースは台無しです。応援して下さっている方々、申し訳ございません。鈴鹿までにしっかりと原因を解明して鈴鹿ではロケットスタートを決めます。その後は追い上げレースとなりましたが、リアの車高を大幅に下げたセッティングは良い方向に行きました。

まとめ

約2年ぶりとなるF4でのレースは予選までは自分で少し納得の行く内容でしたが、決勝の内容が良くなかったです。予選までも今まで自分がF4に乗ってきた時とセットアップの方向が違いとまどいしましたが、なんとか予選までに合わせる事が出来ました。また、作戦も上手くハマり4位というのはレースウィークを考えても良い位置だったと思います。しかし、決勝では1レース目は順位を下げ、2レース目はストールと残念な結果にしてしまいました。ストールの原因をしっかりと突き止めて、鈴鹿で同じ事をしないようにします。久しぶりのフォーミュラでのレースは刺激的でした。またこの車に乗れることに感謝しております。今回も応援して下さいありがとうございました。また次戦も宜しくお願い致します。

